

# イベント事業費補助金の総括について(平成24年度～平成26年度)[概要版]

鳥取市行財政改革推進市民委員会では、イベント事業費補助金の外部評価を行うため、ヒアリングによる外部評価(16事業)を平成24年度から3年間にわたり行ってまいりました。その評価結果の総括結果は以下のとおりです。

## 1 総括評価の対象事業

「しゃんしゃん祭支援事業」及び総合支所が所管する「まつり」「体育大会」「展示会」「物産展」「発表会」等のイベントに対する補助事業(以下「イベント事業費補助金」といいます。)を対象としました。なお、個々の事業の外部評価結果(方向性)は次のとおりです。

## 2 外部評価結果(方向性)

事務事業の方向性を「拡充」「現状維持」「改善継続」「縮小」「休止・廃止・終了」の5つの区分で判定するとともに、その理由を記載しています。

判定	事務事業数、事務事業名	
拡充	0	
現状維持	3	用瀬流しびな行事、各種団体負担金(むらづくり運動事業費、むらづくり大会補助金)、らっきょう生産振興大会助成事業
現状維持 改善継続	1	公民館祭開催費(佐治町)
改善継続	10	あゆ祭補助金、青谷ようこそまつり事業補助金、睦逢大堤うぐい突き補助金、しゃんしゃん祭支援事業、生涯学習推進事業費、流しびなマラニック大会補助金、町民音楽祭開催、マスつりフェスタ補助金、ウォークラリー大会実行委員会補助金、ふるさとの味祭り事業費補助金(佐治町)
縮小	2	貝がら節まつり補助金、ふるさと産業まつり(気多の市)補助金
休止・廃止・終了	0	
計	16	

## 3 イベント事業の問題点

イベント事業費補助金の評価内容・各委員の評価コメントから問題点を抽出すると次の通りです。

### ①事業目的が不明確で、事業実態が把握できていない

参加者の人数・関心・動向が十分に把握できていないものや、開始当初に「観光振興」や「農業振興」施策として位置付けられ実施されてきたイベントの、役割が変化し、地域振興施策に特化してしまっている事例などが見受けられました。事業目的と役割が不一致では効果的に行うことはできません。

### ②市職員の関与度が高く、住民主体のイベントになっていない

ヒアリングの結果、市職員の関与度が高く、運営の実質的な主体が市となっているケースが見受けられました。

### ③費用対効果に照らして過大と思われるものや過度の支出が散見される

報償費等でボランティアやイベント参加者に対する過度の支出が見受けられました。また、費用対効果を考慮すると過大と思われる事業費の支出が一部で見受けられました。

### ④自主財源の確保よりも、市の補助金をあてにしたイベント運営となっている

運営を行うにあたり、自主財源の確保よりも、市の補助金をあてにした財政運営がなされていると見受けられる事業がありました。これでは、一部イベント内容の廃止等を行わない限り、新たな取り組みを行うことはできません。

### ⑤貴重な行政資源(財源・職員)が有効に活用されていない

類似イベントを近隣の地域や同一時期で実施していたケースが見受けられました。加えて今後は支所地域の過疎化の進行に伴い、既存の体制のままでは実施困難となるイベントが生じる事態も想定されます。

### ⑥他地域との公平性に課題がある

地域活性化イベントとして評価する声がある一方で、他地域と比較すると公平性に課題があり、地域間の格差是正を求める評価もありました。

#### 4 総括について

問題点をふまえて、本委員会で外部評価を総括した結果、次の点について見直しを行うことを求めます。

##### ①地域の実態を把握し、事業目的の見直し

参加者の人数・関心・動向等の事業実態、地域のニーズ等を把握し、目的にあった効果が得られるよう再度検証することが大切です。その結果に合わせ、目的・手段を必要に応じて見直し、効果的な事業の実施を行うよう努めてください。

具体的には「観光イベント」は地域の枠にとらわれず、関西圏等県外の方の取り込みを視野に入れた見直しを、「地域振興イベント」は地域住民を対象に絞り地域の絆を深める等効果的な取組となるような見直しを行っていただくことを望みます。

##### ②実施体制の見直し

活力あるイベントにするためには、まず行政に頼るのではなく、住民主体のイベントであるという認識を地元と行政で共有することが大切です。そのためには市職員の関与を極力少なくし、住民ボランティア、とくに若者や地元の商工会等の民間活力の導入に努めるなど工夫が必要です。

最終的には地域で自主運営していくことを視野に入れた次世代を見据えた実施団体の育成・指導に取り組んでいただくことを望みます。

##### ③事業経費の見直し

ボランティアやイベント参加者に対する報償費等の過度の支出を見直す必要があります。費用対効果を考慮しながら改めて目的を達成するための事業内容、工程、経費として適当かどうか、見直しに努めてください。

なお、見直しにあたっては実施主体の住民に改善工夫の必要性を十分説明し、市と市民が一体となって改善に取り組んでいただくことを望みます。

##### ④財政的に自立した運営への見直し

寄付金、協賛金を募ったりするとともに、参加料の見直し、販売イベント出店料を新設したりするなど、自主財源の確保に努めるとともに、市補助金の負担割合の見直しを図り、補助金に頼らない財政的に自立した運営ができるよう改善に努めてください。これにより、市の補助金をあてにせず、新規の取り組みを行うことが可能となり、イベントの活性化、ひいては地域の活性化につながる考えられます。

##### ⑤他事業・他地域・他組織との連携・統合による効果的な事業実施の検討

イベントとして継続して実施・拡充していくためには他事業・他地域・他組織と連携し実施することも必要です。

具体的には、他地域との調整による隔年、輪番による開催、同時期や類似イベントの統合、本庁と支所、近隣支所との連携・支援による実施体制の構築等で、貴重な行政資源(財源・職員)を集約し、イベントの充実を図るよう努めてください。

また、実行委員会の委員への若者の起用、大学のサークル・ボランティア団体・近隣支所の若者等と連携した開催方式の導入などを積極的に進め、活力あるイベント運営に取り組んでいただくことを望みます。

##### ⑥地域間の不均衡是正を視点に入れた事業見直しの検討

本市は、平成26年11月に合併10年を迎えました。これを契機に、地域間の格差是正の視点を新たに取り入れ、市域全体の均衡ある発展を念頭に中長期的な視点による事業の見直しを行うことを望みます。